

のぎく

＊
第122号
平成30年3月31日発行
＊

編集人 機関誌編集委員

発行人 公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター内

TEL (078) 242-4644 FAX (078) 242-4069

E-mail:h-ikuseijimukyoku@honey.ocn.ne.jp http://www.tsunaguiku.sakura.ne.jp/



よさこいを踊りました!



本人活動支援部会 部長
近藤 真由美

「どっこいしょ～どっこいしょ♪」「ソーラン、ソーラン♪♪」2月25日(日)、みんなの元気なかけ声が会場に響き渡りました!

関西大学学生チーム「漢舞(かんまゑ)」のメンバー12名が西宮市総合福祉センターに登場。若者らしい元気な「南中ソーラン」や「大一番」の演舞を披露してくれました。アップテンポの大きな動きを何度も練習して「総おどり」「南中ソーラン」をみんなで思いっきり踊りました。なかなかの仕上がりになりましたよ!

まだ外は寒さの残る1日、会場には熱気と笑顔があふれました。『育成会一日よさこいチーム』の完成です!!

本人のコメント

- 僕は、福祉センターの体育室でよさこいをおどりました。がんばりました。たのしかったです。(本田裕之)
- 漢舞の人たちが踊ってくれた、なんちゅうソーラン節の動きがスゴかった。一緒に踊って楽しかった。

(深谷晋太郎)

目次

“ひょうご”を歩く～ひと、もの、歴史、再発見～	2	第4回相談員研修会	
平成30年度事業計画	3	(第1回権利擁護委員会研修会併催)に参加して	10
平成30年度会計予算書	6	第5回相談員研修会	
成年後見人養成講座に参加して(アンケートより)	7	(第2回権利擁護委員会研修会併催)に参加して	10
地域生活援助者養成講座を受講して	7	第1回施設・事業所部会の報告	10
障害基礎年金学習会に参加して(アンケートより)	8	全国手をつなぐ育成会連合会	
第3回相談員研修会(第2回学齢期部会)を受講して	8	第6回権利擁護セミナーに参加して	11
第61回兵庫県知的障害者福祉大会	9	のぎくさん	11
第1回高齢化対策部会(第1回相談員研修会併催)	9	平成29年度 賛助会員	11
地域生活・就労支援部会	9	平成29年度 受章・受賞	12
		編集後記	12

“ひょうご”を歩く～ひと、もの、歴史、再発見～



公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会 理事長 **井上 三枝子**

現在、全国各地で啓発キャラバン隊が発足し活動しています。今まで啓発と言うとなぜかとっつきにくく敬遠されがちだったことは否めません。ところが、疑似体験のワークショップをすることで、他人事だったことが私だったら？と想像することができ、障害が特別なことではないことが実感できます。兵庫県ではたつの市の「ぴーす&ピース」をお手本に県内にも6地区でキャラバン隊が活動しています。県育成会は、「ひょうごつなぎ隊」としてこのような活動の後方支援をしていきますので、まだ啓発隊が発足していない地域については積極的に取り組んでいただき

いと思っています。

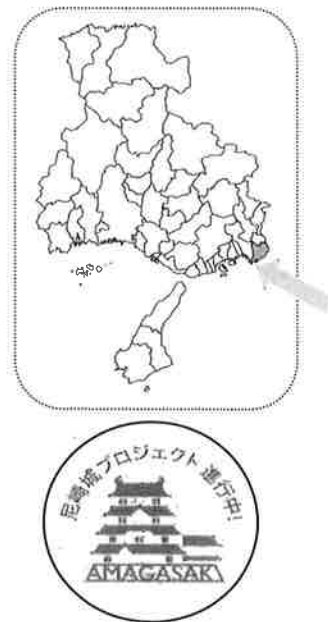
さて、兵庫県は今年県政150年を迎えます。摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の5国が合わさり誕生しました。北は日本海、南は太平洋に面し、大都市から農山村までを抱え「日本の縮図」と言われています。このように広い県なので、兵庫県に住みながら他市町の事は知らないことも多くあるのではないのでしょうか。そこで、今回の「のぎく」から県下各市町の紹介をしていきたいと思います。「のぎく」の紙面を通じ少し旅した気分になっていただければ幸いです。初回は、私の地元尼崎市を紹介しますのでお楽しみください。(役得だ！という声が聞こえてきます…ご容赦ください)

地域自慢 in 尼崎

一昨年、尼崎市は市制100周年を迎えました。人口は約45万人で中核市の指定を受けています。尼崎と言えば、工業の街・公害の街というイメージが強いのですが、歴史が古く弥生時代から人が住み始め中世には港町、近世には城下町として栄え、明治以降は産業工業都市として繁栄し日本経済を支えてきました。尼崎にお城があり城下町として栄えていたことを知る人は少ないと思いますが、1618年に築城され阪神間で唯一の天守閣がそびえていました。その尼崎城が今年の秋には旧ミドリ電化(現エディオン)創業者の安保詮氏の寄付により阪神尼崎駅から南東に徒歩10分ほどの場所に再建されます。今、尼崎では「尼崎城プロジェクト」と称し様々な取り組みを行っています。

また、尼崎市育成会では「尼崎再発見！」と銘打ち、年に1回市内の企業や施設見学等を行っています(下表参照)。市内を散策することで世界に誇れる企業や施設、また文化も多く改めて尼崎を見直すきっかけにもなりました。皆さんも歴史あり、文化あり、産業ありの尼崎にぜひお越しください。お待ちしております。

内容	備考
H24年度 雷テクノロジーセンター	世界的にも珍しい雷対策の専門メーカー「音羽電機」。直撃雷の実験や雷の写真を展示しています。
H25年度 エーデルワイスミュージアム	ケーキで有名なエーデルワイスの創業者が収集した製菓道具や貴重な資料約5,000点を展示しています。
H26年度 尼崎の歴史と養蜂の取組み(講演会)	尼崎の歴史と尼崎鉄工団地の「すさま緑化」として養蜂を始め、収穫した蜂蜜を「尼みつ」としてアンテナショップで販売中。
H27年度 尼ロック(尼崎閘門)	海拔0m地帯の多い尼崎市の安全を守っている施設。「ロックこうもん閘門」とは水面の位置が違う水門を交互に開閉する事で船を航行させる為の装置で、レオナルド・ダ・ヴィンチが考案したとされパナマ運河に代表されます。
H28年度 ユニチカ記念館・文化財収納庫	バレーボールとNHKN朝ドラ「朝が来た」で話題になったユニチカの記念館と考古資料や尼崎城下町復元模型などが展示された文化財収納庫があります。



平成30年度 事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

I 基本方針

差別解消法施行後も全国的に差別や虐待事件は後を絶たず、改めて知的障害者の理解促進のための日常的な啓発活動が重要となっている。一方、設立60年を過ぎ、本会は会員の高齢化、会員減少、特に若い親の未加入など存続に関わる危機に直面しており、組織運営の大幅な見直しが求められている。

平成30年度は、このような情勢を踏まえ、「知的障害者の権利擁護」を重点とし、全国育成会京都大会「権利擁護分科会」の開催を担当し、差別解消に向けた育成会や自治体の取組み等を広く発信する。また、「障害児等職業体験事業」を継続実施するほか、新たに、「RPM(自閉症を持つ人への教育)講演会」を開催する。さらに、将来を見据え事業や組織の見直しに着手する。

今後とも、各地区育成会をはじめ、全国や近畿の育成会組織と緊密に連携し、活動の充実と組織運営の安定化を図る。

II 主要事業

1 知的障害者に関する研修事業

(1) 権利擁護委員会の運営

知的障害者の差別解消や虐待防止など権利擁護のための研修会等を開催するほか、県や社協など関係機関との連絡会議を開催する。

(2) 専門部会研修会の開催

「高齢化対策」、「地域生活・就労支援」、「施設・事業所」、「学齢期」、「本人活動支援」部会において、時宜に即した研修会を開催する。

(3) 障害基礎年金学習会の開催

障害基礎年金の受給漏れがないよう、同年金の申請手続き等について熟知するため、県立特別支援学校で開催する。

(4) 成年後見人養成講座の開催

将来、成年後見人となることを希望する方を対象に、「成年後見人養成講座」を開催する。

■(5) 特別研修会「RPM講演会」の開催

自閉症を持つ人の能力を高める新たな教育方法について学ぶため、RPM(ラピッド・プロンプティング・メソッド)講演会を開催する。

(6) 障害児等職業体験事業の実施

職業型テーマパーク「キッサニア甲子園」において知的障害児等が働くことの大切さを学び、未来の夢を育む機会を提供する。

■(7) 第5回全国育成会連合会全国大会京都大会「権利擁護分科会」の開催

知的障害者の差別解消を目指し、全国各地の知的障害者の理解啓発活動のさらなる発展に向けた今後の方向性について考える。

2 知的障害者に関する普及・啓発事業

(1) 第62回兵庫県知的障害者福祉大会の開催

県下各地からの会員参加のもと、知的障害者をめぐる課題や最新の情報について理解を深めるとともに、会員相互の交流の場とする。

(2) 疑似体験啓発活動団体による啓発(ひょうご“つなぎ隊”)

知的障害者に対する理解が一層浸透するよう、学校や職場、地域社会など身近な所で啓発活動を実施する。これから新たに活動を開始しようとする地区団体には技術的支援を行う。現在、県下6団体で活動が行われているが将来的に全地区での実施を目指す。

3 知的障害者に対する支援事業

(1) 知的障害者への専門相談

知的障害者が抱える悩みや困りごと、その他諸問題等に対応するため、専門相談を行う。

(2) 地域生活援助者養成講座の開催

支援員の一層の資質向上を図り、知的障害者の地域社会での日常生活の一層の向上が図れるよう支援する。

4 育成会の組織運営

[関係団体との連携と活動の充実]

全国手をつなぐ育成会連合会や近畿手をつなぐ育成会連絡協議会の活動に積極的に参画し、その中で得られたノウハウや最新情報等を本会活動に活かす。

[課題の発掘・共有と解決]

会長会や地区会長懇談会等を開催し、会員ニーズの把握、地域課題の発掘と共有化を図り、課題解決に向けた効果的な事業推進につなげる。

Ⅲ 具体的な事業内容

1 公益目的事業

(1) 知的障害者に関する研修事業

[県育成会]

①権利擁護委員会（連絡会議、研修会等）

②知的障害者相談員研修会 4回

③専門部会研修会 各1回

ア 高齢化対策部会

イ 地域生活・就労支援部会

ウ 施設・事業所部会

エ 学齢期部会

オ 本人活動支援部会

④障害基礎年金学習会 県立特別支援学校 4校

⑤成年後見人養成講座 2地区

新⑥特別研修会「RPM講演会」 平成30年6月

⑦障害児等職業体験事業 キッザニア甲子園（西宮市）

⑧ブロック別保護者研修会 9ブロック

⑨レクリエーション教室 9ブロック

[全国手をつなぐ育成会連合会]

①第5回全国育成会連合会全国大会京都大会（近畿大会併催）

平成31年2月23日（土）～24日（日） 京都市

新② 同 全国大会京都大会「権利擁護分科会」の開催

平成31年2月23日（土） 京都市

③全国育成会連合会・権利擁護セミナー

④事業所協議会全国研修大会

[近畿手をつなぐ育成会連絡協議会]

①第57回近畿知的障害者福祉大会（全国大会併催）

②近畿リーダー養成研修会 平成30年4月20日（金） 大阪市

[その他]

①兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会

②福祉の集い

③賀詞交換会

- ④第67回兵庫県社会福祉大会
平成30年11月20日(火) 川西市
- (2) 知的障害者に関する普及・啓発事業
- ①第62回兵庫県知的障害者福祉大会
平成30年10月18日(木) 明石市
- ②兵庫県障害者芸術・文化祭(兵庫県障害者福祉大会)
【舞台部門】 「県立芸術文化センター」(西宮市)
【作品展】 「県立美術館」(神戸市)
- ③疑似体験啓発活動団体による啓発
活動団体 7団体
〔尼崎市「まんまるはーと」、西宮市「輪・和・WA」、猪名川「いなキャラ」
宝塚市「宝塚すみれ隊」、川西市「川西市知的障害啓発隊」、明石地区「まねっこ隊」、
たつの市「ぴーす&ピース」〕
- ④表彰・感謝
- ・育成会活動功労者への表彰
 - ・知的障害者に貢献された個人・団体への感謝
 - ・一般企業等で10年以上又は20年以上就労者への表彰
- ⑤機関誌「のぎく」の発行 年2回、7千部
- (3) 知的障害者に対する支援事業
- ①知的障害者への相談事業 平日、週2回
- ②地域生活援助者養成講座
- ③グループホーム等新規開設サポート事業
- ④在宅重度障害者生活環境改善資金貸付事業
住宅改修や福祉機器の購入等に要する費用、100万円以内
無利子、連帯保証人2名

2 収益事業

- (1) 全国育成会連合会・機関誌「手をつなぐ」助成金の地区還付
- (2) 「心のとも運動」還元金の地区還付
- (3) 国庫補助事業助成事務

3 育成会の組織運営

- (1) 評議員会の開催 年2回(定例)
- (2) 理事会の開催 年3回(定例)
- (3) 三役会の開催 月1回
- (4) 会長会の開催 年2回
- (5) 地区会長懇談会の開催 各ブロック、年1回
- (6) 専門部会役員会の開催
- (7) 兵庫県等への予算要望

[H30年度廃止・見直し事業]

- ①地域生活援助者バージョンアップ養成講座 廃止
- ②親と子の学級配分金 廃止
- ③レクリエーション教室配分金 算定単価引下げ(@140円/人→@100/人)

平成30年度 会計予算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

(単位：円)

科 目	合 計
I 経 常 収 益	
基本財産運用益	69,000
特定資産運用益	122,100
受取会費	8,774,000
賛助会費	300,000
事業収益	3,640,000
受取補助金等	14,090,000
受取負担金	2,136,000
受取寄付金	0
雑収益	455,575
経常収益計	29,586,675
II 経 常 費 用	
事業費用	26,564,342
管理費用	3,022,333
経常費用計	29,586,675
当期一般正味財産増減額	0
一般正味財産期首残高	6,198,439
一般正味財産期末残高	6,198,439

安心を
お届けします

生活サポート総合補償制度 AIGの普通傷害保険

- ① 病気やケガまたはその検査のため入院したとき
入院給付金 (付添介護保険金、差額外費用、入院諸費用、入院一時金)
- ② 他人にケガをさせたり、他人の物を壊して法律上の賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険 (限度額1億円)
- ③ ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術の各種保険金
- ④ 病気で死亡したとき
葬祭費用保険金

<問い合わせ先>
(2018年1月1日以降)
AIG損害保険株式会社
大阪プロチャネル営業部
ジェイアイシーウエスト株式会社
☎ 0120-177-294

一般社団法人全国知的障害児者生活サポート協会
一般社団法人 兵庫県知的障害児者生活サポート協会



成年後見人養成講座に参加して（アンケートより）

- 手続きや単にご本人と後見人だけでなく、裁判所や金融機関等登記や証明書等複雑な手順で成り立っていることに、この制度の大変さを感じる。資産の多寡により大きく分かれると思う。一定の金額（例えば5千万、1億、etc）で仕組みを分けて、小資産は簡素化できないものかと思います。
- 改めて後見人になるには、相当な覚悟があることが分かりました。責任の重さも痛感しました。例え、親や子供でも財産は、「他人の財産」と認識して管理することの重要性を感じました。後見人の勝手な判断で、いろいろな手続きをすることは出来ず、必ず家庭裁判所へ相談をすることが大切だと知りました。成年後見人になることへの心構えを学ぶことができ、とても参考になりました。ありがとうございました。



地域生活援助者養成講座を受講して

社会福祉法人さざんか福祉会 グループ
ホーム事業部 藤本 大輝

私は、2017年の6月より宝塚さざんか福祉会のグループホーム支援員として従事させて頂くことになりました。他業から事前知識もほとんど無いまま、福祉業界に身を投じることになりました。右も左も分からぬまま不安を抱いていた日々に、こうして研修を開いて頂けることを知り、有り難く、

安心致しました。今回の講座において、全体を通して一番印象に残っていることは、利用者の方々の心に寄り添った支援が必要だということ、身体の健康面にも充分以上の注意を払わなければならないといったことです。「当たり前」だからこそより意識しなければと感じました。また、他の法人の方々と話すことができたり、ワークショップの機会を得られたことは、今後支援を行うに当たって、大きな財産となります。このような機会を頂き、誠にありがとうございました。



障害基礎年金学習会に参加して(アンケートより)

あわじ特別支援学校

以前、南あわじ市手をつなぐ育成会で、障害基礎年金のお話を聞きました。そこで初めて、20才からの年金があることを知りました。我が子の場合には重度なので審査は通るとは分かっていましたが、提出書類が大事だということや小さい頃からの子供の様子の記録を残しておくことも大切だということを知りました。本日実際にどのような書類が必要か、どういうふうの手続きしていくのかが、良く分かりました。軽度の人たちにとっては、すごく大事なことだと思います。たくさんの方々にお話を聞いてもらえたらと思うので、また学習会があればと思います。今日はありがとうございました。



加西特別支援学校

今日は、とても勉強になりました。ただ、時間が短かった為、残念でした。もっと聞きたかったです。今日話を聞いていて、私自身誤解をしていました。級がとか、色々ダメなんだなと思っていたので、聞いてビックリしました。又、もっと話を聞きたいです。

赤穂特別支援学校

母親の会で、障害基礎年金の書類を書くのに大変だったと聞いたことがありました。小さい文字で、どんなことがあったのか、困りごとをイメージして、どういう所につまづきがあるのが客観的にたくさん書かないと等級が下がってしまうよと言っていました。今、障害児である娘は17才でありますので、特に自分にとっては必要な情報でした。ありがとうございました。

上野ヶ原特別支援学校

基礎知識はよくわかりました。知的障害で通院していないので、医師を決めるのが大変かと思えます。川西こどもセンターで、発達検査結果とりよせの件については、先日確認できているので安心しました。

第3回相談員研修会(第2回学齢期部会)を受講して

一般社団法人 尼崎市手をつなぐ育成会
吉岡 かほる



平成30年1月15日兵庫県民会館での相談員研修会を受講しました。第2回学齢期部会との併催で「僕が自閉語を学ぶわけ～エピソードで語る教師力の極意」のテーマで、ノートルダム清心女子大学の青山新吾氏の講演をお聞きしました。毎日幼稚園でお弁当を投げていた自閉症のある子どもを、小学校入学前の給食試食会に迎え入れた時のエピソードを話されました。「お弁当を投げる」行動の裏にある内面を探りながら細かい配慮や工夫を凝らし、試食会を成功体

験させた結末に教師力を感じました。理解していないと思い込まずにきちんと話すことが大切だとの言葉が一番心に残りました。複雑な想いや言いたくても言えない心情があるのだと心に留めて、これからの相談活動に活かしていきたいと思えます。

第61回兵庫県知的障害者福祉大会

公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会
常務理事 矢野 一隆

平成29年10月26日、第61回兵庫県知的障害者福祉大会がたつの市の赤とんぼ文化ホールで行われました。

県下各地から多くのご来賓、会員の方々に来ていただいて盛大に開催することができました。

講演会は筑波大学人間系（障害科学域）助教の大村美保氏の「知的障害者の高齢化と高齢期を見据えて若い頃からできること」が午前・午後の二部構成で行われ、身近な話題をわかりやすく話して下さりとても良い講演会となりました。

また、司会は市内の播磨特別支援学校の生徒さんに行っていたが、今までにない雰囲気を出せたかなと思います。ホール隣のギャラリーでは市内と太子町の小中学校特別支援学級の児童生徒の作品展が行われ、多くの方に見ていただきました。

ご来場の皆さま、準備等のお手伝いをしていただいた西播磨各市町の皆さまありがとうございました。



第1回高齢化対策部会(第1回 相談員研修会併催)

公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会
副理事長 田中 文江



今年度の高齢化対策部会は、昨年11月15日10時半～15時半 成年後見制度の問題点と今後の課題・知的障害者の地域生活と権利擁護についての研修会を開催し、85人の参加者がありました。

「成年後見制度」は、知的障害者の生活をまもるために必要な制度だと思いますが、言葉からして難しく敬遠したくなります。そんな制度を、福島健太弁護士、糸瀬裕哉相続診断士、山崎甲児司法書士、榎本昌起社会福祉士のメンバーが、成年後見制度の問題点をお茶の間のテレビでおなじみのサザエさん一家に例えて説明されました。どこの家庭にでもある身近な話題に、他人事ではないと感じられた方は多いと思います。この制度が、知的障害者にとって使いやすい制度になることを期待しております。

地域生活・就労支援部会

公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会
地域生活・就労支援部会 部会長 浅山 みゆき

地域生活・就労支援部会を12月21日に開催しました。(株)セキスイハウス医療・介護推進事業部長の阿南様とNPO法人トゥギャザー別府様に「障がい者グループホームの取り組み」についてご講演頂きました。障がいのある人にとって自立とは①社会での適応能力を身に着ける ②就労して工賃などの収入を得る ③成人したらいずれ親元から独立する。GHとは、単身での生活に不安があるため一定の支援を受けながら地域の中で暮らしたい方が対象である。一人一人の生活を実現できる生活の場であり、みんなで作り上げるものという話から始まりました。会場いっぱいの参加者があり高齢化が進む中GHへの関心の深さを感じました。開設実現に向け場所の確保・資金面等多くの課題がありますが、NPO法人トゥギャザーがサポートや相談に乗って頂ける事。また、住いのエキスパートであるセキスイハウスは、共同生活では音に対しての配慮が重要と考えて作られた安心・安全なGHの話に前向きになれる研修会でした。企業もGHに注目していることがわかり、利益と社会貢献との兼ね合いもありますがよい流れになっていると感じました。1番の課題は支援者の人材確保であることを改めて感じた研修会でした。



第4回相談員研修会(第1回権利擁護委員会研修会併催)に参加して

公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会

権利擁護委員会 副委員長 小原 冷子

平成30年1月17日(水)兵庫県福祉センターにおいて、県下各地より43名の参加があり、講師にひょうご防災特別推進員志築氏をお迎えして「災害時の在宅知的障害者の避難誘導のあり方」と題してご講演いただきました。

当日は、くしくも「阪神淡路大震災」の起こった日で、あの震災の体験者としては、「南海トラフ」という巨大地震の話は、いつ起こるか分からない恐怖があり、不安そのものという感がありました。その概要を知ること、ただ恐れるのではなく日頃の備えが大切なことや、事前にできる対策のポイントなどの心の準備を教えてくださいました。また、津波による被害では、最高津波水位や津波到達時間なども知ることができ、あわてずに避難することができそうに思いました。

「知的障害者に大切な支援」について

- ・減らす オーバーフローしないように必要な情報を絞って、情報を伝えること。
- ・無理なく 不安定になった時のために、普段から興味のある好みの物を用意しておく。
- ・視覚を使う わかりやすい言葉でゆっくり話し、絵や文字など視覚を使うこと大切。
- ・処方 今まで服用していた抗てんかん薬や抗精神病薬などの継続処方。など「正しく学び」「正しく恐れ」「正しく備える」が大事です。と学びました。



第5回相談員研修会(第2回権利擁護委員会研修会併催)に参加して

NPO法人伊丹市手をつなぐ育成会

理事長 下村 直美

平成30年2月9日神奈川県座間キャラバン隊の公演に参加させていただきました。キャラバンメンバーの方はダウン症、自閉症の子どもさんをもつお母さん方で構成されています。まずは各々の障害特性を話されました。我が家にも知的障害の息子がいますのでちょっとしたエピソード話をお聞きしても「うちもよく似たことあったわ!」と内心どこも同じやな〜と思いつつ参加させていただきました。



お話の中でキャラバンに出向かれた中学校で生徒さんが書いた感想で「何も思わない」とあり、「何も思わない、何も感じない」事がとても怖い事である。これこそ偏見になっていると言われたことがとても印象に残りました。障害があるなし関係なく優しい気持ちになれば「困った人」が「困っている人」に変わっていくこと。「みんなちがってみんないい」事にみんなが気づくことが大切だと改めて思いました。

第1回施設・事業所部会の報告

施設・事業所部会 部会長 三木 尚美

平成29年12月13日(水)、「ひょうご障がい者トータルケアセンター」OMOIYARI+ONE(尼崎市)の見学会を行いました。阪神尼崎駅からすぐの通いやすい場所にあり、洗練されたオフィスといえる環境の中、気持ちも引き締まります。本部長の渡辺様が丁寧に分かりやすく説明して下さいました。障害福祉サービスとして、就学前から就労までトータルに、きめ細やかな支援を行ってられます。近くにショートステイもあり、グループホームの利用を視野にいた練習の場にされているとの事でした。将来の夢や希望を持って可能性を引き出せる場所。利用される方の5年後10年後の姿が楽しみに思いました。



全国手をつなぐ育成会連合会
第6回権利擁護セミナーに参加して

公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会 理事長 井上 三枝子

平成30年1月26日広島市において第6回権利擁護セミナーが開催されました。午前中は広島市障害福祉課長 秋山美帆氏が、「差別解消法と各地の理解・啓発への取り組み」をテーマに広島市での障害者差別解消のための取り組みについて、



て、また福岡市手をつなぐ育成会理事長 向井公太氏からは、障害種別を超え「差別禁止条例を作る会」を立ち上げ、差別禁止条例づくりを進めていること、そして私は尼崎市育成会の啓発グループ「まんまるはーと」誕生までの経緯と活動について、また警察署協議会に参画したいきさつを発表しました。

午後からの講演Ⅰでは、全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員 又村あおい氏が、「差別解消法運用の現状と課題～法を活用して啓発活動を！」について、講演Ⅱは、「虐待防止法の見直しと学校関係への理解・啓発」として全国手をつなぐ育成会連合会権利擁護センター運営委員 関哉直人氏から講演がありました。

その後、「ひろしまあび隊」と「福岡市手をつなぐ応援隊」の実演へと続きました。

資料の権利擁護活動に関するアンケート結果については、権利擁護センター委員長 松井美弥子氏、権利擁護運営委員 村山園氏から丁寧な報告がありました。

今回のセミナーは盛りだくさんの内容で、また全国各地のキャラバン隊の資料集もあり、これからキャラバン隊の発足を考えている地域は背中を押され、また既に活動しているグループにも新しいワークショップのヒントがあったのではと思います。これから更に日本各地で啓発キャラバン隊が発足し障害の人達への理解がますます深まることを願っています。



平成29年度 賛助会員

賛助会員	所在地
井上 三枝子	尼崎市
大前 繁雄	西宮市
野村医院	芦屋市
久米 利津子	芦屋市
上坂 秀昭	川西市
坂本 寿子	川西市
(株)丹波屋	三田市
澤外科	三田市
(株)三田屋本店	三田市
株式会社 丸優	三田市
松井 美弥子	宝塚市
大野 セツ子	宝塚市
大谷 真由美	明石市

賛助会員	所在地
廣橋 岳登	明石市
(株)下村商店	明石市
ミナト歯科医院	明石市
谷本 靖子	明石市
村上 友江	明石市
神沢医院	三木市
神沢クリニック	三木市
埜崎 太宗	多可郡
まねき食品(株)	姫路市
前田 智子	赤穂市
澁川 壽彦	相生市
杉本医院	相生市
田中 文江	相生市

賛助会員	所在地
田淵 聡子	たつの市
溝口呉服店	たつの市
稲田 武利	たつの市
合橋診療所	豊岡市
松原 和夫	豊岡市
妹尾 昭吾	神戸市
デジタルグラフィック(株)	神戸市
幼保連携型認定こども園あい保育園	神戸市
吉田 多佳子	神戸市
森鼻 麗子	神戸市
ちえの友鉛筆(株)	東京都
ジェイアイシーウエスト(株)	大阪市
根来 厚子	京都市

平成29年度 受章・受賞

おめでとうございます。会員の皆様と共に祝い申し上げます。今後ますますのご活躍をお祈りします。

◆厚生労働大臣表彰
(更生援護功労者)
全国手をつなぐ育成会連合会会長表彰



田中文江
(兵庫県手をつなぐ育成会 副理事長)

◆兵庫県社会福祉協議会
会長表彰
(社会福祉事業功労者)



前川好文
(兵庫県手をつなぐ育成会 理事)
矢野一隆
(兵庫県手をつなぐ育成会 常務理事)

◆第66回兵庫県
社会福祉大会
知事表彰
(障害者自立更生者)

- 加島 清美
- 岡本 重樹
- 前川 勲
- 遠藤 智
- 酒居 幸平
- 田尻 悟

◆第61回兵庫県
知的障害者福祉大会
理事長表彰・感謝

《表彰》

- 飯田 勝代
- 岸 章子
- 後藤千奈美
- 藤田 敏子
- 池森 健一
- 藤本 義性

《感謝》

- 北 雅子
- つくしグループ



◆第13回兵庫県障害者芸術・文化祭【兵庫県障害者福祉大会】 公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会理事長表彰 (知的障害者就労表彰)

《10年表彰》

氏名	住所	勤務先
三原 和仁	尼崎市	兵庫トランスポート(株)
上田 稔	尼崎市	和光純薬工業(株)
山口 俊一	尼崎市	阪神中高年企業組合
戸田 広香	西宮市	クラレテクノ(株)
伊藤 英治	伊丹市	(有)ホワイト急便 池田
山副 航	宝塚市	国立大学法人 神戸大学
西森 彩	三田市	(株)ユニクロ イオンモール神戸北店
久保 直也	加古川市	印南養鶏農業協同組合
石井 勇輝	加古川市	(株)ユニクロ 加古川ニッケパークタウン店
平田 守	加古川市	ユウキ産業(株)
富木 勇人	加古川市	印南養鶏農業協同組合
春野 純一	三木市	(株)サンセブン 業務スーパー 押部谷店
岡本 崇	丹波市	クリヤマ(株)
高藤 博史	丹波市	(株)ムラコ
山下 利夫	篠山市	光明興業(株) 西紀サービスエリア

《20年表彰》

氏名	住所	勤務先
杉本 和彦	尼崎市	(株)いかりスーパーマーケット 塚口店
北山 徹	尼崎市	(株)エーデルワイス
富塚 純光	西宮市	(株)ハイレックスコーポレーション 三田工場
野条 直美	西宮市	ヤマト運輸(株)
平安座直子	西宮市	(株)くらコーポレーション くら寿司さくら夙川店
内田 清	伊丹市	村田興産(株)
守川 敏江	宝塚市	エームサービス(株)
中 邦彦	宝塚市	(株)協同食品センター
森脇 久嘉	三田市	(株)パトライト
鶴田 幸子	三田市	(株)丸優
池内 一仁	三木市	トミタテクノス(株)
土井 晴美	三木市	(株)小野ダスキン
國富 洋一	姫路市	(株)姫路農産流通センター
花井 武義	姫路市	門倉貿易(株) たつの工場
廣納 麻由	鞆郡鞆町	社会福祉法人光輪福祉会 あやめ苑

編集後記

ネット社会に乗り遅れないようにと、苦手なパソコンやスマホに向かい合っていると、書いては消し、消しては書きの消しゴムカスはなくなりましたが、いざ書こうとする手元から漢字が消えてしまっているんです。(バラ)